



新年

明けましておめでとございます。

皆さまはどんな年末年始を過ごされましたか？私は例年通り、年末は家業の餅つきに追われてました。ひたすら餅を丸め、並べ、袋詰めして、道の駅に持って行って…。31日まで延々と餅つき。流石にしばらく餅を見たくなくなりました。あと、手と肩と腰が悲鳴をあげました。

そして、年明けは寝不足だったこともあり、おせちも食わずこんこんと眠り、正月とは何ぞやって感じで。

また、初夢は熊に追いかけて回されて、めでたさからはかけ離れたものでした(せめて虎が良かった)。

こんな感じで始まった一年ですが、どうぞ今年もよろしくお願いいたします。

修学旅行

昨年12月に朝倉グリーンツーリズム協議会では、古賀市立古賀中学校の2年生260名の生徒を二日間受け入れました。
原鶴の泰泉閣さんに宿泊して、一日目は黒川で災害ボランティアとして農地のほ場整備、二日目はそれぞれ受入家庭に分かれて家業体験を行いました。

一日目のほ場整備では、生徒たちに被災した農地に残る石などを取り除く作業をしてもらいました。中学生が退屈せずできるのか不安に思っていたのですが、私の心配をよそに非常に楽しんでくれました。

石を見つけるのが、宝探しのようで面白かったみたいで、大きな石は集めなくてもいいと言っても「見つけました！」と満面の笑みで持って来られたら、何も言えな

かっで一番好きです。
煮入るお雑煮が
うめ

くなりました。

生徒たちはボランティアをしたことにより、災害についてより関心を持ってくれたようで、農家の方に災害当時の話や集めた石がどんな経緯で畑にあるのかなど進んで聞いている場面があり、非常にいい機会になったと実感しました。



二日目の受入家庭での体験では、各家庭で様々な体験をしたようで、私が行った二軒の家庭ではしめ縄作りと秋月の散策をしたり、茶道や弓道、喫茶店体験をしました。最初は緊張していた様子の生徒たちも、最後の方には受入家庭の方と打ち解けた様子でした。

どの体験も生徒たちは初めてだったようで、新鮮な反応を見せてくれるので、受入家庭の方も見てるだけの私も楽しい時間を過ごすことができました。

帰りがけには、「もっと体験したかった」「また来ます」と言って帰る子どもたちが多く、久しぶりの修学旅行に受入家庭の皆さんからも「楽しかった」という声が聞こえてきました。

古賀中学校は今年も来てくれるそうなので、楽しみです。



では、今回はここまで。また次回〜！



受入れ家庭大募集

農村体験・農村民泊の受入れ家庭を募集します！

朝倉グリーンツーリズム協議会では、都会の子ども達や住民の方々に「朝倉での暮らしや人との触れ合い」を通して「あさくら」の魅力を伝え、地域の活性化に繋がるよう活動をしています。現在は国内の小学校、中学校、高校の教育旅行や体験の受け入れを積極的に行っています。近年では「日本の生活や文化を学びたい」ということで海外の学生さんや個人でいらっしゃる方も増えており、国際交流の場にもなっています。

そんな活動をしている協議会ですが、現在の受入れ家庭軒数では対応しきれない場合もあり、朝倉に來たいと言ってくれる方々をお断りしているケースも多々あります。

そこで、朝倉グリーンツーリズム協議会では農業体験や農村民泊を受け入れていただける家庭を随時募集しています。

是非、受け入れを通して「あさくら」の魅力を一緒に発信していきませんか？



受け入れに関してよくある質問

Q 農家じゃないけどいいの？

A 農家でなくても問題ありません！普段と違う生活を送ることが立派な体験となります。家で農業体験ができない場合は、近隣の受入れ家庭との連携等を協議会で調整させて頂きますので、ご相談ください！

Q 料理はどうすればいいの？

A 特別な料理ではなく普段食べている料理を子ども達と一緒に作って食べてあげてください。食事も立派な体験活動の一つになります！アレルギーを持つ生徒がいる場合は、事前に事務局より連絡を行い対応します。

Q ボランティアなの？

A 受け入れて頂いた場合は、受入れ家庭に謝礼をお支払いします。

【例】中学生3名を受け入れた場合（一泊二日二食・半日農業体験付）

5,400×3人＝16,200円

※食材や寝具等は受入れ家庭でご準備ください。

Q 一回に何人受け入れて何泊ぐらい受け入れるの？

A 一軒の受け入れは3～5人位を予定しています。が、事前にご相談させて頂きます。教育旅行などの受け入れで多いのは一泊となっています。

問い合わせ先

農村体験・農村民泊に少しでも興味のお持ちの方は、是非ご連絡ください！

電話・0946・24・6758